▲新入生の自己紹介風景（鏡山公園にて）

一体感のある理学部行事を

理学部
学生生活委員会
委員長
谷口雅樹

昨年の野外研修では、数日前に行われた修学ガイダンスや教官との顔合わせの内容と重複がみられるなど、はじめての実施ならではの現象もみられた。しかし、各学科の特色がそれなりに鮮明に打ち出された形となり、目的も充分果たされたように思う。

本年は、研修内容の企画・立案から実施に至るまで昨年の経験が随所に生かされ、各学科でさまざまな工夫がなされた。実施形態は各学科で異なるものの、理学部行事として一体感のあるものになりつつある。

（たにぐち・まさき）

楽しかったオリキャン

数学科では昨年度とほぼ同じ形式で行った。新入生は理学部玄関前に集合し、東広島運動公園まで移動。天気は良かったが、「きつかった」という学生がかなりあった。チューターによる数学科の紹介と、新入生の自己紹介で午前の部を終了、グループに分かれて昼食をとりながら教官・先輩との懇談を行った。先輩から学生生活について色々聞けて良かったという声が多くあった。

午後は三年次の学生のリードで、上級生も多数加わりドッジボールの対抗戦を行った。全体として「楽しかった」という感想が多く、一応の成果はあったと思われる。

数学科　前田文之

多彩な催しで

主役の新入生とともに、教室の学部生、大学院生と教官が一体となって、手作りの一泊オリキャンを行った。

初日の午前は、院生企画の研究室ツアー。学部公開なみの準備であった。午後は、教官と院生による今後の大学生活に必須の有り難いお話の後、貸切りバスに乗り西条研修センターへ移動。教務担当教官による授業科目に関するQ&Aに続き、二年生制作によるパラマウント映画ばりの学科紹介ビデオの上映を行った。さらに、二年生の企画による懇親会及び翌日の三年生運営によるソフトボール大会で、教室構成員相互の親睦を大いに深めた。

物理学科　鈴木孝至

クイズで学科紹介

JR向洋駅に午前九時三十分集合し、広島青少年文化センターを会場として行った。本年度の実施案作成・進行は、小口助教授を中心として、大学院生・学部四年生たちによりなされた。

まず午前は、新入生・学部生・大学院生・教官が混じった小グループに分かれ、グループリーダーの司会で、自己紹介・ガイダンスが行われた。午後は、理学部・学科・研究室・西条地区の紹介をクイズ形式で行い、お互いの親睦をはかった。よく準備されたオリエンテーションであった。

物性学科　城　健男

わきかえった野外ステージでの親睦

昨年と同様に、化学科では各研究室の紹介から、教官の趣味、さらには、学生による教官の評価を掲載した情報誌「ケミコム」により、まず、新入生に化学科を十分アピールした。グリーンピア安浦への日帰りバス旅行は好天に恵まれ、広い芝生上での班ごとの催しと、野外ステージでのユーモアに富んだゲームやクイズなどで、新入生と在学生および教官は互いにすっかりとけこんだ。欲をいえば、ゆっくり話し会えるメニューが組み込まれるとより効果が上がったであろう。

ともあれ、教官九割の参加と実行委員の一方ならぬ努力に感服している。

化学科　齊藤　吳

▲昼食風景（庄原にて）

生物系全講座が参加して

今年も三年生を中心に実行委員会が作られ、昨年と同様に鏡山公園で行われた。おかげで、初夏を思わせる日差しのなかで、楽しい時を過ごせた。

すばらしいことは、生物科学科、二つの実験所、遺伝子科学専攻、二つの研究施設の理学部生物系の全講座の教官、院生、四年生、そして三年生、二年生もほとんど参加して開かれたことだ。弁当を食べながら、各講座の研究室紹介、新入生の自己紹介、ゲームが行われた。新入生の初々しさが印象に残った。

生物科学科　佐藤敏生

雄大な地下資源の採掘現場と約千五百万年前の地層の観察から当時の地球環境を考察

四月十六日、快晴のもと理学部前から新入生と教官は、午前九時に貸切りバスで出発、途中のバスの中では教室の先生方からそれぞれの研究内容についての説明が行われ、また、バス沿線の地形や地質についての解説が行われた。

お昼前に、耐火材や窯業原料を大規模に採掘している庄原市北方の勝光山鉱業所に到着。大規模な地質時代の変質作用について鉱山の技師の説明を受けながら観察。昼食後は三次郊外に移り、新第三紀の地層の観察をとおして約千五百万年前の古環境についての解説が行われた。

学生一同大きな感銘を受けた。

地球惑星システム学科　竹野節夫